

アンケート調査(案)に係る意見(概要)及び対応状況

平成29年4月24日
第1回障害者施策推進協議会
資料7

問	質問項目	意見の内容(概要)	地域	対応状況
—	全体	<ul style="list-style-type: none"> 手帳をもたない障害者のニーズも調査すべき。 市外グループホームや入所施設、事業所の利用者の考えを知りたい。 短期入所について、利用者の考えを知りたい。 成人期の余暇活動の実態がわかるような項目が欲しい。 福祉と教育の連携が出来るような質問を設けてほしい。 		<ul style="list-style-type: none"> 手帳所持者以外に自立支援医療(精神通院)受給者証所持者等も対象として検討。 市外グループホーム等利用者も対象として検討。 短期入所については、満足度等の調査項目において、ニーズを把握。 成人期の余暇活動については、調査項目を追加。
		<ul style="list-style-type: none"> 設問の誘導方法について、矢印なしで統一してもいいのでは。 アンケートの対象者には入院中の人も含んでほしい。 		<ul style="list-style-type: none"> 矢印なしで統一。 入院中の方の把握が難しい。
		<ul style="list-style-type: none"> 精神障害の方に対するアンケートを手帳所持者のみに限る場合、自立支援医療(精神通院)の受給者証を所持している方に行き渡らないので、精神障害の方たちのニーズがしっかり把握できるのか。 		<ul style="list-style-type: none"> 自立支援医療(精神通院)受給者証所持者も対象として検討。
		<ul style="list-style-type: none"> 回収率アップのためアンケートには個人を特定しない旨の文面を入れて欲しい。 		<ul style="list-style-type: none"> 個人を特定しない旨を追加。
		<ul style="list-style-type: none"> ボリュームがありすぎるのではないか。 		<ul style="list-style-type: none"> 項目精査。削減検討継続。
		<ul style="list-style-type: none"> 市外に住所がある方であっても、国分寺市が支給決定している場合にはアンケート調査の対象として欲しい。 		<ul style="list-style-type: none"> 対象として検討。
		<ul style="list-style-type: none"> 専門用語については、注記が無いと不親切ではないか。 	○	<ul style="list-style-type: none"> 適宜注釈等で対応。
1. 基本情報		<ul style="list-style-type: none"> 前回調査票の方が丁寧かつ優しい感じがある。 		<ul style="list-style-type: none"> わかりやすい表現に修正。検討継続。
3	年齢	<ul style="list-style-type: none"> 個人が特定されないためには、年齢ではなく年齢層を選択する質問形式がよいと思われる。例えば、4月1日現在を基準として、20歳以上は10歳きざみ、20歳未満は、18歳、15歳、12歳、6歳を境界に区分して質問する。 		<ul style="list-style-type: none"> 年齢の収集をもって個人の特定を行うものではないため、修正なしとしています。
4	住まいの地域	<ul style="list-style-type: none"> 町が特定されると個人が特定されやすいので、地域包括支援センターの地域区分で選択するようにはどうか。 		<ul style="list-style-type: none"> 選択肢を地域ごとの区分に変更。
5	障害者手帳・診断名など	<ul style="list-style-type: none"> 精神障害については障害者手帳の等級のみを質問するのではなく、「手帳はないが診断を受けている」という選択項目を加えるべき。 		<ul style="list-style-type: none"> 項目を追加。
7	収入の管理者	<ul style="list-style-type: none"> 本人、家族、親戚、その他に加えて「成年後見人等(補助人、保佐人、成年後見人)」も加えてはどうか。 		<ul style="list-style-type: none"> 項目を追加。

問	質問項目	意見の内容(概要)	地域	対応状況
2. 福祉サービスの利用状況と今後の利用意向について				
8	福祉サービスの利用の有無	<p>①(問8・9・10に共通して)福祉サービスの利用の有無とその理由を質問する項目だが、「福祉サービス」が何を意味するのかわからない。問8～10を、問11の後ろに移動して、「あなたは問11のサービスを利用していますか?」とすればどうか。また「このアンケートでは問11のサービスを福祉サービスといいます」と注釈を加えれば、「3 福祉サービスの利用の満足度」の意味も明確になる。</p> <p>②問9の回答3に「サービスを利用したいが、サービスの内容や相談先がわからない」とあるが、これを選んだ人に対して自由記述欄が必要ではないか。これを選んだ人がいるということは大きな課題であり、この状況を生まないためにどのような対策が必要かを考える時の参考になる。</p> <p>③問10の回答2「介護保険サービス」についての説明が不十分ではないかと思う。2号保険者についても触れたほうが良い。</p>		<p>①質問を見直し、注釈を追加。 ②「10. 相談について」と重複することから修正なしとしています。 ③注釈を追加。</p>
9	福祉サービスを利用していない理由			
10 (削除)	利用している福祉サービスの種別			
11 (10)	サービスの利用状況・利用意向	<p>①「日中活動系サービス(施設などで利用できるサービス)」の標記の内「施設などで利用できるサービス」は削除すべき。「施設入所支援」も施設などで利用できるサービスなので概念が混乱する。</p> <p>②「6短期入所」を「日中活動系サービス」に含めているのは不適切であり、「居住系サービス」に加えるべき。また説明文の中で「短い期間施設に宿泊」とあるが、入所施設と誤解されるので「短い期間宿泊」に改めた方が分かりやすい。</p> <p>③「7生活介護」の説明文は「常に介護が必要な方に、施設で昼間、入浴、排せつ、食事などの手助けをします。また、ものを作り出す創作的・生産的な活動も行います。」となっているが、これでは「入浴、排せつ、食事などの手助け」が主で、「ものを作り出す創作的・生産的な活動」が副次的なサービスと誤解される。「常に介護が必要な方に、昼間、ものを作り出す創作的・生産的な活動の機会を提供したり、入浴、排せつ、食事などの手助けをします。」として欲しい。なお「施設で」の表現は、入所施設のみとの誤解も避けられるので、削除した方がよい。</p> <p>④「9機能訓練」の説明文は「施設で、身体機能や生活能力維持向上のため、リハビリテーションを受けることができます。」となっているが、他のサービスの説明文では、どういうサービスを提供するかを説明している。また事業の目的は、身体的リハビリテーションだけではない。そこで「自立した日常生活や社会生活が営めるよう、身体機能や生活能力の向上のための訓練などを行います。」の方が読みやすい。また「施設で」は、上記と同様に削除した方がよい。</p> <p>⑤「10生活訓練」の説明文は「施設で、食事や家事などの日常生活に関する訓練を受けることができます。」となっているが、上記と同様に、サービス提供の説明にした方が読みやすく、また、訓練は「食事や家事など」だけではない。そこで「自立した日常生活や社会生活が営めるよう、生活能力の向上のための訓練などを行います。」とする方が適切。</p> <p>⑥「15施設入所支援」の説明文は「自宅等での生活が難しく、施設に入所している方に、入浴、排せつ、食事などの手助けをします。」となっている。「社会モデル」の考え方に基づけば入所の原因は、地域生活支援の不足にある。従って「自宅等での生活が難しく」という文は削除すべき。</p>		<p>①②その他の項目も含め表現を修正。 ③表現を修正。 ④「リハビリテーションなど」の表記に修正。 ⑤表現を修正。 ⑥「自宅等での生活が難しく」の表記を削除。</p>
		<p>①「地域相談(地域移行・定着支援)」が欠けている。 ②「10生活訓練」の説明を、「施設で、食事や家事などの日常生活に関する訓練を受けることができます。」から「施設で、食事や家事などの日常生活に関する訓練や、芸術・文化・スポーツなど様々なプログラムを通して生活の幅を広げる訓練を受けることができます。」としてはどうか。</p>		
3. 福祉サービス利用の満足度について				
12 (11)	サービス等利用計画の作成について			・各項目を修正。「5. わからない」を追加。
13 (12)	サービス等利用計画の感想等			・「5. よくわからない」を追加。

問	質問項目	意見の内容(概要)	地域	対応状況
14-1 (14)	満足の理由	・モニタリングという記述があるが、この言葉の意味が分からない人は多い。補足説明が必要。		・冒頭の表現を修正。
14-2 (15)	不満の理由			
16 (17)	サービス提供事業者の所在地、サービスの満足度、不満の理由	・「6. 短期入所」を「日中活動系サービス」から「居住系サービス」に移すべき。 ・「その他」として扱われている「移動支援」は単に移動だけの支援ではなくて社会参加への支援でもあるため、「その他」とせず個別具体的に、詳しく取り上げて欲しい。		・表全体の表現を修正。
4. その他のサービスについて				
17 (18)	サービスの利用状況・利用意向	・サービス名に「対面朗読者派遣事業」をいれて欲しい。利用者が増えない原因は周知不足なのか、ニーズがないのかを是非アンケートで知りたい。		・項目を追加。
		・地域福祉権利擁護事業を入れてほしい。	○	・項目を追加。
		・障害福祉ガイドブックに入っているような項目がすべて反映されていないのはなぜか。	○	・全体のボリュームも考慮し、修正なしとしました。
5. 住まいの場について				
18 (19)	現在の住まい	・精神は「通過型／滞在型」の2種別あり、いずれを選択するのか。		・項目を追加。
		・「病院に入院」を選択肢に入れるのは病院を住まいとして認めることになるのでは。	○	・項目を削除。
		・「持ち家」と「賃貸」というところまで把握する必要があるのか。	○	・居住実態把握のため、修正なしとしました。
19 (20)	同居人の有無	・一緒に住んでいる方がいるか質問する項目だが、グループホームと福祉施設入所の場合は除くことを明確にすべき。		・グループホーム等の場合を回答対象から除外。
		・問18の選択肢にグループホームや施設、病院等も含まれており、その方は同居人がいると捉えるのか、個室ならないと捉えるのかがわかりづらい。入院中の方は大部屋もある。		
20 (21)	同居人の年齢区分・主な介助者			・年齢区分を「65歳未満」「65～74歳」「75歳以上」に修正。
21 (22)	今後の暮らしの希望	・「3. 親以外の家族(兄弟など)と同居」の「(兄弟など)」を削除すべきである。配偶者との同居もあり得るため。		・「(兄弟など)」を削除。
21-1 (23)	今後の居住意向(グループホーム)	・「2. 1年以内 3. 3年以内 4. 3年から10年以内 5. 10年以上」と分けられているが、計画の基礎資料とするならば、計画期間を考慮し、「2. 1年以内 3. 1年から4年以内 4. 4年から10年以内 5. 11年以上」とした方が良い。		・大まかな傾向を把握できるよう、項目を修正。3年の区切りは修正なしとしました。
		・グループホームにどういうことを望んでいるか、不安は何かについて、把握できる質問を自由記述でよいので入れてほしい。	○	・自由記述の(問25)を追加。
21-2 (24)	グループホーム入居先の希望(市内・市外)	・「1. 市内 2. 市外 3. どちらでもよい 4. わからない」となっているが、「都外」の選択肢も加えたい。現在都外施設に入っている人が地域移行をするときに、すでになじんだ地域のグループホームを希望する場合も多い。		・市内のグループホームのニーズ把握を主な目的としているため、修正なしとしました。
22 (63)	今後の暮らしについて(必要だと思うこと、課題、不安)	・回答項目を次のとおり修正。「7. 家のバリアフリー」→「7. 家のバリアフリー構造への改造」、「9. 費用面」→「9. 費用負担と工面の方策」、「14. 施設で働けること」→「14. 福祉的就労(福祉事業所での就労)」		・項目を修正。 ・問いのカテゴリを「14.全体的な施策について」に移動

問	質問項目	意見の内容(概要)	地域	対応状況
6.	日中活動の場について	・前回調査票の「あなたが通所サービスを利用する上で、お困りのことがありますか」(問31)は必要ではないか。		・全体のボリュームも考慮し、修正なしとしました。
23 (26)	平日の昼間の過ごし方	・精神科デイケアも入れたほうが良い。		・「デイケア」の表記を追加。
23-1 (27)	勤務先			・「就労継続支援などの福祉的就労」を追加。
24 (29)	今後働くことを希望するか			・「働きたくない」と「働きたいが働けない」の項目に分離。
(32)	余暇時間の過ごし方			・問いを追加
(33)	余暇時間に必要・不安なこと			・問いを追加
26 (34)	通園・通所・通学先	・「6. 普通学級と特別支援教室・通級指導学級」のうち、「特別支援教室」が「サポート教室」に変更になる。	○	・「サポート教室(特別支援教室)」に修正。
27 (35)	学校以外の時間の過ごし方 (回答者は18歳未満で小学校就学後の方)	・18歳以上の方が日中活動以外の時間で利用している余暇支援などのサービスについて、利用状況や満足度について質問する項目を追加すべき。 ・「日中一時支援事業」は言葉自体わかりづらい。「預かり」の方がわかりやすい。	○	・(問32), (問33)を追加。 ・「日中時間預かり(日中一時支援)」に修正。
7.	趣味・スポーツなどについて			
8.	外出・移動手段などについて			
33 (43)	外出するときに感じる不便や困難	・「介護者と外出する際、介護者の交通費などの負担が大きい」を加えたほうが良い。		・項目を追加。
9.	災害への備えについて			
34 (44)	災害発生時の困りごとや不安なこと	・「どこが避難所であるか知らない」「どこが福祉避難所か知らない」を加える必要がある。		・項目を追加。
37 (削除)	国分寺市は安全・安心のための社会環境整備ができていると感じるか			・問いを削除。
10.	相談について	・前回アンケートの問36(相談機関の利用状況), 問37(相談機能を充実させる策)の問は必要ではないか。		・問39(48)の表現を修正。
38 (47)	相談窓口の認知・利用状況・満足度			・項目を追加。
11.	市の障害福祉サービス等に関する情報の入手について			
12.	ヘルプマークとヘルプカードについて			
13.	障害者差別解消法のことについて			

問	質問項目	意見の内容(概要)	地域	対応状況
14.	希望・要望			・カテゴリ名を「全体的な施策について」に修正。
54 (削除)	国分寺市は障害のある人が暮らしやすいまちだと感じるか			・問いを削除。
55 (64)	暮らしやすくなるために充実してほしいこと	・項目に「(安心して過ごせる)日中の居場所」を加えてほしい。また自由記載欄を設けてほしい。		・表現を修正。